

行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回 答	担当部課
勝田	右手真殿	今年の夏、台風の時10人くらいが自主避難した。真殿の公会堂は古く、塩谷は不便。防災の拠点を作りたいが、国の施策で良いものがあればまた研究してほしい。	集会施設の建設に係る地元負担金は、建設事業費（用地取得、造成及び取壊し経費を除く）の1/3の地元負担金を要します。建設を要望する場合は、市民部くらし安全課へ問い合わせてください。	危機管理室
勝田	右手真殿	美作市にもふるさと納税というのがあるのか。	ふるさと納税制度は全国共通のものです。美作市も市産の商品カタログをホームページで選べるようにして好評を得ており、増加傾向となっています。平成27年4月から12月の実績は、302件、5,482千円です。	企画振興部
勝田	右手真殿	人口減少が進む中で、地方の時代になる。慣習や文化、伝統を見直し、魅力を発信するために人づくり、グループづくりが必要。	総合戦略の中に、小さな拠点づくりとして、ひとづくり、グループづくりを支援していくメニューがあります。ある程度の集落単位で集落の課題を解決していくグループを支援していきます。ローカルブランドづくり等応援していきたい。	企画振興部
勝田	右手真殿	日体大の集団行動の合宿を見たが良かった。お客も多く、学校との交流をしていたのが良かった。指導員も厳しい方だが、あれくらいの指導が良いと思った。	日体大の誘致へのステップと考えています。なお、期間中の見学者数は約2,400名でした。	企画振興部
勝田	右手真殿	市の障がい児施策は遅れている。小中学生以下の障がい児対応が低いと感じる。特に医療・保育の面が不足している。現在は県南に行かないといけなく負担が大きい。核家族化が進み、親世代と同居してないので、精神的な不安を抱えている。療育の場がないことも不安である。保育園の先生に専門の知識が乏しく、半日で返すなど、保護者の支えとなるものがない。奈義町や勝央町は頑張っている。参考にして、連携してほしい。	周囲の後押しも必要で、共通理解を持つことが大切です。勝央町のきずなや津山みのり学園はレベルが高い。美作市の福祉事業は少なく、連携を図っていくことが必要と考えています。ただ、就労支援については、美作市は良い状態にあり、悪いのは療育だと感じます。誕生寺支援学校や旭川荘等と連携しながら、自立支援、組織の在り方を検討していかなければなりません。障がい者地域活動支援センター機能強化について検討し、勝英地区自立支援協議会活動の充実に努めます。また、保育士等の専門知識の習得や療育施設と保健師等との連携強化等を推進します。	保健福祉部 教育委員会
勝田	右手真殿	梶並のやまゆり苑隣接の老人福祉施設の進捗状況はどうなっているのか。また、施設の内容、利用料はどうなるのか。	平成28年3月現在で、工事中です。施設はサービス付住宅を併設した小規模多機能と聞いている。障がい者も可で、地域密着型で25人まで。泊まりで20人まで。満員になるようであれば利用料の減額をお願いしていきたい。通常特養で、月15～18万円。この施設では月11～13万を目指している。別に食費等が必要ですが、特養より2～3万円安い価格を目指したい。	保健福祉部

行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回答	担当部課
勝田	右手真殿	中山間地域の農業振興について、耕作放棄地が増えた要因のひとつに米価の低下による生産者の意欲減がある。農地集約を進めているが、このあたりは地形上、規模拡大が難しい。TPPの問題もある。価格の安定が必要。3年後に中山間直接支払制度がなくなる。市の支援をお願いしたい。農業法人化も進めないといけない。市の取り組みを説明してほしい。	米価は平成26年にコシヒカリが1,000円高く、H27年もコシヒカリが2,000円高い価格となっており、JAはコシヒカリを作ってほしいとのことでした。高く売りたいと思えばJAが推進しているコシヒカリを作る手もあると思います。TPP問題では、小さな農家では厳しいところもあるので、農地中間管理機構等、自分に一番合うものを判断して取り組んでいただきたい。補助事業等の情報発信に努めます。TPP関連や攻めの農林水産業などにより新規事業が創設されつつありますので、その都度関係者の方々には情報提供を行います。	経済部
勝田	右手真殿	鳥獣害の補助金について、以前は1戸でも良かったが、3戸以上になった。どういった理由か。	防護柵の補助については、それぞれの地域での事情があると思われるので、整備計画を個別にご相談ください。	経済部
勝田	右手真殿	栄養分析をされているそうだが、魚についてはどうか。	国においては機能性農作物など農作物が持つ抗酸化作用などをアピールすることにより、販売促進と国民の健康維持を図るべく事業展開されていることから、まずは農作物での結果を出したいと考えます。	経済部
勝田	右手真殿	観光客も外国から来る人が増えている。語学、通訳の育成が必要。行政の対応は。	総合戦略の中に、小さな拠点づくりとして、ひとづくり、グループづくりを支援していくメニューがあります。ある程度の集落単位で集落の課題を解決していくグループを支援し、ローカルブランドづくり等応援していきたい。外国人の観光客が増加していることから、多言語の観光パンフレットを製作することを検討していきたい。	経済部
勝田	右手真殿	「源流の郷うて」として商標登録して名前を売っていききたい。	総合戦略の中に、小さな拠点づくりとして、ひとづくり、グループづくりを支援していくメニューがあります。ある程度の集落単位で集落の課題を解決していくグループを支援し、ローカルブランドづくり等応援していきたい。商標登録に関する詳細をお聞きし、効果的なPRができるよう支援していきたい。	経済部
勝田	右手真殿	プレミアム商品券、一人当たりの購入上限を設けるべきであった。またの機会があればそうしてほしい。	1人当たり5万円までの制限はありましたが、交通手段の無い方をどうするか等の意見があり、近所の方でもハガキを預かってきてもらえれば販売するとの方針で取り組みました。その結果、複数の方のハガキを預かられた方がたくさん来られたため、他の多くの方に購入していただけませんでした。今後の取り組みについては、仮に実施するのであれば、今回のプレミアム商品券の取り組みについて十分検討していきたい。	経済部

行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回 答	担当部課
勝田	右手 真殿	県道勝田智頭線が狭い。改善要望を出しているが、どうなっているか。	県境から1kmは中山間事業で取り組みたい。中山間事業は5か年計画で現計画が平成28年に終了するので、平成29年からの計画に計上します。それまでは単県事業で事業を進めますが、交通量が少なく県の方針で2車線は難しい状況です。 県には事業化進展に向けて継続的に要望を行います。	建設部
勝田	右手 真殿	塩谷の上に残土を持って来ている。置き場の前に擁壁等をして崩れないようにしてほしい。	県事業の残土も多く搬入されているため、現在、県において安全性を検証中です。	建設部